

事務事業評価シート

(R1)No.	5163	(H30)No.	5163
---------	------	----------	------

事務事業名	市民農園運営・整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	岩本 靖之	

会計区分	事業コード	303001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	市民農園運営・整備事業	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業振興費	市民農園運営・整備事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	活力に満ちて暮らせるまち
	基本施策	1	地域産業の振興
	施策	1	農林資源
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
遊休農地活用により市民に農業・自然にふれあう安らぎの場を提供するとともに、行政・地元住民(農業者)とのネットワークづくりを推進します。
事業内容
田畑の適切な保全・管理による荒廃化の防止及び農業者不足に伴う定年後の就農者確保のため、市民農園の施設、周辺の管理及び土地の借上げ等市民農園の管理・運営を行います。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H30年度(事業量・取組実績)		R1年度(事業量・取組計画)		R2年度(事業計画)	R3年度(事業計画)	R4年度(事業計画)
	H29繰越分	H30現年分	H30繰越分	R1現年分			
主な事業の実績・計画	市民が身近に「農」に触れ、交流する機会や場所づくりを進めるために適切に市民農園の運営整備を実施するとともに市民に提供します。		市民が身近に「農」に触れ、交流する機会や場所づくりを進めるために適切に市民農園の運営整備を実施するとともに市民に提供します。		市民が身近に「農」に触れ、交流する機会や場所づくりを進めるために適切に市民農園の運営整備を実施するとともに市民に提供します。	市民が身近に「農」に触れ、交流する機会や場所づくりを進めるために適切に市民農園の運営整備を実施するとともに市民に提供します。	市民が身近に「農」に触れ、交流する機会や場所づくりを進めるために適切に市民農園の運営整備を実施するとともに市民に提供します。

	H30年度(決算見込)		R1年度(作成時予算額)		R2年度(計画予算)	R3年度(計画予算)	R4年度(計画予算)
	H29繰越分	H30現年分	H30繰越分	R1現年分			
①直接事業費		922千円		976千円	976千円	976千円	976千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他(市民農園入園料)		592		976	976	976	976
一般財源	0	330	0	0	0	0	0
人工数							
職員		0.18人		0.18人	0.18人	0.18人	0.18人
臨時職員等		0.00人		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	1,350千円	0千円	1,350千円	1,350千円	1,350千円	1,350千円
①+②総事業費	0千円	2,272千円	0千円	2,326千円	2,326千円	2,326千円	2,326千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H30年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
農業体験や自然とのふれあいという目的は達成しています。課題として未利用区画の発生や、市民農園敷地内において、道路の砕石補充等の維持管理を適正に行なうことにより、利用者が快適に利用できました。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(改善)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
再募集や2区画目の利活用を利用者に呼びかける等、未利用区画の解消に努め、今後も市民が農業や自然にふれあう安らぎの場を提供します。	第3次名張市農業マスタープラン